

## 【あしがき】

多摩・島しょ地域は、大会競技施設が集積する東京 23 区と比べると、ハード分野でのレガシー創出について多くを期待することはできません。

しかし、ソフト分野におけるレガシー創出については、多くの可能性を有しています。

オリンピック・パラリンピック大会が開催されることにより起こる、人々の意識の変化をはじめ、様々な影響や効果をうまく施策につなげて、地域の課題解決を目指す。

ぜひそういった未来志向の前向きな視点から、オリンピック・パラリンピックの取組をもう一度検討してみてください。

従来からの取組も、困難な取組も、今大会を契機に更なる発展や解決に向け、大きく動き出す可能性があります。ぜひこの機会を見逃さないでください。

リオデジャネイロ 2016 大会の開催後は、東京 2020 大会に注目が集まり、人々の気運や関心が一段と高まっていくことが予想されます。

2016 年度はまさに、レガシー創出に向けた取組を計画し、スタートしていく絶好の年と言えます。

多摩・島しょ地域における積極的な取組の展開により、多くのレガシーが創出され、将来にわたり継承されていったとき、多摩・島しょ地域にとって東京 2020 大会は、真に意義のあるものだったと言えるでしょう。

このオリンピック・パラリンピック大会というまたとない好機を活かして、今こそ、大会の成功と、そして、レガシー創出に向けた取組を始めましょう！

